

# 平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	認知症高齢者家族介護支援事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	早川 仁				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	認知症高齢者を介護する家族	意図	認知症の方の介護者の精神的な負担の軽減
事業内容	認知症の方を介護する家族の集い（コスモスの会）を開催して情報交換と交流の場を設ける。			
事業開始から現在までの状況変化	介護家族健康教育として健康増進課で行っていたが、平成18年度から地域支援事業として介護支援課で実施している。 事業費は国費39.5%、県費19.7%、1号保険料5%が地域支援事業交付金として交付される。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	コスモスの会参加者数	51	48	47	人
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・年6回実施し、認知症の方を抱える家族の会から助言者を招き、介護者の心身の負担の軽減を図った。 ・参加者の情報交換の場にとどめず、地域包括支援センターの個別支援につなげていく。 ・参加者アンケートにより把握した参加しやすい日程で会を開催した。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		578,520	864,860	892,060			
事業費(b)(円)		199,720	147,060	193,360			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		378,800	717,800	698,700			
人役・職員(人)		0.05	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	開催日時を工夫して参加しやすいように設定し、継続する一方で、先進市のさまざまな事例をよく研究し、介護者の精神的負担の軽減に効果的につながる会として発展させていく。	③取り組みの課題	開催場所を固定しないことにより介護者が参加しやすくなったが、開催内容が座談会方式に留まっており、介護者の精神的負担軽減につながる内容の工夫が必要である。
②今年度(H25)に実施した取り組み	参加者に対しアンケートを実施したところ、曜日や時間、場所を固定しない方がよいとの回答が多かったため、会場や時間を固定せずに実施。	④今後の改善計画	開催内容について座談会方式以外にも対象者やテーマを絞った介護者の精神的負担の軽減につながる内容を検討していく。